

11月30日は「いい看取り・看取られ」人生会議の日

# もしものときのために 家族で話そう

例えば

大切にしていること

父 わたしはお祭りのお囃子だね。  
篠笛（しのぶえ）を後世に伝えていきたいな。

母 そうね、今はグラウンドゴルフが一番の楽しみ！  
大切にしていることのひとつよ。

今の身体の状態や、

医療関係者と話をしていること など…

父 昨年白内障の手術を受けたよ。今のところ、どこも  
悪くない。血圧を下げる薬を飲んでるくらいだ。

母 私は6年前に乳がんが再発してから、定期的に  
通院していて、今は数値が安定してるよ。

将来希望する医療やケア

または、してほしくないこと

父 将来か…。終末期の番組を見ていると、  
自分が管でつながれて延命させられるのは  
いやだな。

母 わたしも…。家族に負担はかけたくないな。

意思表示ができなくなった時に、  
代わりに物事を決めてもらう人

父 あなたたち（息子・娘）に決めてもらいたい。  
病気以外のことも何かあればお願いしたいな。

心身の状態に応じて、意思は変化することがあるため、  
何度でも繰り返し考え、話し合いましょ。

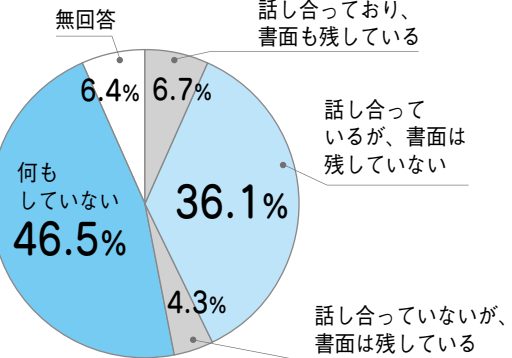
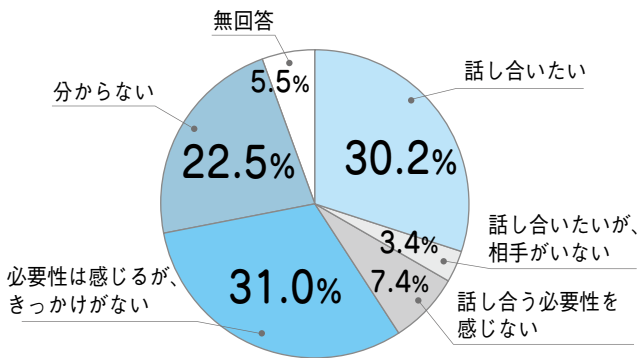


「人生会議」（愛称 ACP＝アドバンス・ケア・プランニング）

## 大口町高齢者等実態調査(令和4年12月実施)より

もしものことを考えて  
家族などと話し合いたい

もしものことを考えて家族と  
話し合ったりしている



一般高齢者 964人 (要支援・要介護認定を受けてない、65歳以上の方、ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯の方)

リビングウィルとは、もしものことを考えて、自分の医療に対する考えを事前に書面に残しておくことをいいます。

**私のリビングウィル**

私は病気や介護状態などで、意識や判断能力が保たれない状態になった場合、以下のような医療行為を望みます。

( ) 1. 人工呼吸器や心臓マッサージなど生命を維持できるように最大限の医療を希望します。

( ) 2. 人工呼吸器や心臓マッサージなど生命を維持できるように最大限の医療は希望しません。

「人工呼吸器や心臓マッサージを希望しない」と記載した方は以下の箇条のうち、自分の考えと最も近いと思われるものを1つ選び、○を付けて下さい。

( ) 1. 全力の治療(人工呼吸)や手術(心臓マッサージ)などによる積極的な医療行為を希望します。

( ) 2. 積極的な治療は希望しないが、治療などによる痛みや苦しみは希望します。

( ) 3. 治療などによる痛みや苦しみは希望しないことを希望します。

( ) 4. 治療などによる痛みや苦しみは希望しないが、治療などによる痛みや苦しみを希望します。

( ) 5. その他

私が大切にしていること、大切にしている考え方について

臓器提供や遗体について (臓器提供する場合は)

臓器提供希望カードを希望する ( ) 臓器提供希望、遗体は希望しない

臓器提供希望 ( ) 臓器提供希望、遗体は希望する

氏名: \_\_\_\_\_ (生年月日: 年 月 日)

私が判断できないときは、私の医療や介護上の判断は以下の医療従事者をしてください。

主治医: 氏名 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

医療従事者: 氏名 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

▲私のリビングウィル



尾北医師会ホームページ  
「在宅医療・介護、  
人生会議のご紹介」



▲「人生会議」始めてみませんか  
届け！私の想い

誰もが、命に関わる大きな病気やケガで、自分の意思を伝えられなくなる可能性があります。命の危険が迫った状態になると、約70%の方が、医療やケアなどを自分で決めたり望みを人に伝えたりすることが、できなくなるといわれています。

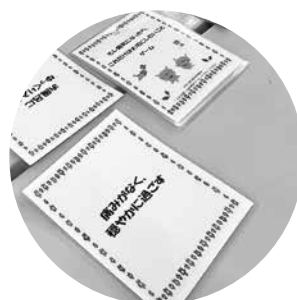
「人生会議」とは、将来の医療やケアの希望、あなたが大切にしたいことなどを、家族や親しい友人、かかりつけ医やケアマネジャー等の医療・ケア専門職と一緒に考え、話し合い、記録に残しておくことをいいます。

あなたの希望を伝える  
「人生会議」はじめてみませんか

自らが希望する医療やケアを受けるために、大切にしていることや望んでいることを、前もって周囲の人々が聞いていたら、できるだけ尊重する方法を考えることができるでしょう。

**自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することが重要です。**

大口町では、「人生会議」を知っていただくため、10名程度のグループを対象に出前講座を実施しています。詳しくは長寿ふくし課へお問い合わせください。



▲人生会議を体験型の  
カードゲームで楽しく学びます



▲「人生会議」出前講座

## あなたの身近に在宅医療 ～住み慣れた自宅で暮らし続けるために～

その後、父が脳梗塞で倒れ入院生活に…



足に麻痺が残りましたが  
篠笛を吹くために  
リハビリをがんばりました。

しばらくして父の今後について話し合いがおこなわれた…

父が在宅で生活したいと  
思っていることを伝えました。

妻



娘



息子



父の在宅生活を  
支えてくれる人たち



理学療法士



薬剤師



訪問看護師



歯科医師



医師

「在宅医療」とは、医療や介護が必要になった時に「住み慣れた自宅で、できるだけ長く暮らしたい。最期まで暮らしたい」と望む人のために、医師・歯科医師・薬剤師・訪問看護師等が自宅に伺い、支援をおこなうことをいいます。病院に通うことが難しくなっても、自宅で必要な検査や治療を受けることができますので、まずはかかりつけ医・かかりつけ歯科医にご相談ください。かかりつけ医がない場合は、

## あなたの希望を叶える在宅医療

長寿ふくし課や地域包括支援センターでご相談に応じます。

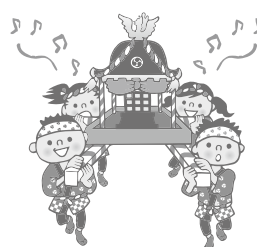
「在宅医療」を知っていただく「在宅医療・介護の出前講座」も実施しています。出前講座では医療・介護専門職のお話を直接聞くことができます。お申し込みやご相談は長寿ふくし課へお問い合わせください。

問合せ先 長寿ふくし課

☎94-0051

父の最期…

父は在宅で生活することになり、  
秋のお祭りで聞こえるお囃子を  
楽しみに過ごしました。



やがて食事量が減り  
意思疎通も難しくなり、  
在宅主治医から  
点滴をすすめられました。

父の意思を尊重し、  
自然な形でお願いしました。

この決断には家族も迷いは消えま  
せんでしたが、父の希望を伝えました。

人生会議（ACP）は、本人のためであることはもちろんですが、本人に代わって決断する家族の重荷を和らげるためでもあるのです。